

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 0.1 mol / L 過マンガン酸カリウム溶液
 会社名 : 清川メッキ工業株式会社
 住 所 : 〒918-8515 福井市和田中 1-414
 担当部門 : 品質保証部
 電話番号 : 0776-23-2912
 F A X 番号 : 0776-21-7402
 メールアドレス : chemical@kiyokawa.co.jp
 整理番号 : KPNQMDO-30-023
 登録日 : 2017.07.05
 改訂日 : —

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 : 区分 2
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分 2
 生殖細胞変異原性 : 区分 2
 特定標的臓器／全身毒性（単回暴露） : 区分 2（呼吸器）
 特定標的臓器／全身毒性（反復暴露） : 区分 2（呼吸器、神経系）

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） : 区分 3
 水生環境有害性（長期間） : 区分 3

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 皮膚刺激
 強い眼刺激
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
 水生生物に有害
 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 : ミスト、蒸気などを吸入しない。
 環境への放出を避ける。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
 適切な保護手段、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
 使用後は保護具をよく洗う。
 取扱い後はよく手を洗う。

救急処置 : 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。医師の処置を受ける。
 皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を多量の流水と石鹼で洗う。直ちに医師の処置を受ける。
 暴露した場合：医師の処置を受ける。

保管 : 気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
 : 直射日光を避け、容器を密閉し冷暗所に施錠して保管する。
 廃棄 : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : 過マンガン酸カリウム水溶液
 成分及び含有量 : 過マンガン酸カリウム 約 1.6 %含有
 化学特性（示性式） : KMnO_4
 官報公示整理番号
 化審法 : 1-446
 安衛法 : 公表化学物質（化審法番号を準用）
 CAS No. : 7722-64-7
 危険有害成分 : 過マンガン酸カリウム

4. 応急処置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水と石鹼で洗い流す。
 目に入った場合 : 直ちに流水で 15 分間以上洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後 も洗浄を続けること。眼科医の処置を受ける。
 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、大量の水を飲ませ、直ちに医師の処置を受ける。
 予想される急性症状及び遅発性症状 : 情報なし

(参考)【過マンガン酸カリウムのデータ】

経口摂取 : 灼熱感、腹痛、下痢、吐き気、嘔吐、ショック/虚脱。

吸入 : 灼熱感、咳、咽頭痛、息切れ、息苦しさ。

肺水腫の症状は 2～3 時間経過するまで現れない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。

皮膚 : 発赤、皮膚熱傷、痛み

眼 : 発赤、痛み

塩化水素の蒸気を吸入すると、のど、気管支、肺などが刺激され、肺水腫、呼吸器の炎症、呼吸困難などを起こすことがある。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は燃焼しないが、他の物質の燃焼を助長する。
 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、乾燥砂など
 特有の危険有害性 : 可燃性物質または還元剤と接触すると、火災および爆発の危険性がある。
 火災によって刺激性、有毒及び、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水し冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

回収、中和 : 漏洩した液は、乾燥砂や土などに吸着させて、空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : 排気/換気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行う。
容器をよく振った後に使用する。開封した場合は、直ちに使用する。
- 適切な保管条件 : 熱から離して保管する。火源の近くに保管しない。容器は遮光すること容器は密栓して冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料 : 遮光したポリエチレン、ポリプロペン、ガラス

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。必要に応じて排気用の換気を行なうこと

管理濃度 : 0.2mg/m³ (Mnとして)

許容濃度

ACGIH (2012 年度版) : TWA, 0.02mg/m³ (R) ; 0.1mg-Mn/m³(I) (中枢神経系損傷) (Mnとして)

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣 (長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 紫紅色
- 臭い : 無臭
- PH : データなし
- 沸点 : データなし
- 融点 : データなし
- 引火点 : 不燃性である
- 密度 : データなし
- 溶解性
- 溶媒に対する溶解性 : 水に混和する
- その他のデータ : なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常条件で安定である。
- 反応性 : 酸化性があり、還元性のある物質と反応することがある。
- 避けるべき条件 : 日光、熱
- 混触危険物質 : 可燃性物質、還元性物質、金属粉末
- 危険有害な分解生成物 : マンガン化合物

11. 有害性情報

【本製品のデータがないため、過マンガン酸カリウムのデータを表記】

- 急性毒性 (経口) : rat LD₅₀=750 mg/kg (EHC 17,1981)
- 皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚腐食性
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼刺激性
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
- 生殖細胞変異原性 : マウス骨髄細胞の小核試験、染色体異常試験で陽性
- 発がん性 : 分類できない
- 生殖毒性 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- 特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

- ： 呼吸器の障害（区分 1）
- 特定標的臓器・全身毒性－反復暴露
- ： 呼吸器、神経系の障害（区分 1）
- 吸引性呼吸器有害性 ： データなし
12. 環境影響情報
- 水生毒性 ： 水生生物に有害
長期継続的影響により水生生物に有害
13. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 ： 都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。必要に応じて、廃棄の
前に可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い
状態にする。本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、
そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。
- 容器 ： 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
14. 輸送上の注意
- 国連番号 ： 非該当
- 国連分類 ： 非該当
- 品 名 ： 非該当
- 海洋汚染物質 ： 非該当
- 特別の安全対策 ： 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、
荷崩れの防止を確実にを行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
15. 適用法令
- 化学物質排出把握管理促進法（PRTR）
- ： 非該当
- 毒性及び劇物取締法 ： 非該当
- 労働安全衛生法 ： 名称等を通知すべき危険物及び有害物
特化則 特定化学物質第 2 類 管理第 2 類
- 大気汚染防止法 ： 有害大気汚染物質／優先取組（中環審第 9 次答申）
- 水質汚濁防止法 ： 指定物質「過マンガン酸カリウム」
- 麻薬及び向精神薬取締法 ： 非該当（含有量が 10% 以下のため）
16. その他の情報
- 引用文献 化学物質の危険・有害物便覧、厚生労働省安全衛生部監修 中央労働災害防止協会
（2000-2001）
危険物ハンドブック、ギュンター・ホンメル編 シュプリンガー・フェアラーク東京
（1991）
15509 の化学商品、化学工業日報社（2009）
毒劇物基準関係通知集改訂増補版 毒物劇物関係法令研究会監修 薬務広報社（2000）
化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ、化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ、化学工業日報社（2007）

* この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。